

1月 給食だより



令和8年1月8日
小金井市立小金井第二中学校
校長 清水 裕径
栄養士 櫻井 美幸

あけましておめでとうございます 午

冬休みも終わり、3学期が始まりました。新学期を元気に迎えられるように、給食室一同心を込めて給食を作りいきます。

1月は春の七草や鏡開きにちなんだ給食で始まります。1月24日～30日は全国学校給食週間があり、今年は日本で初めて出された給食メニューを再現し、小金井の給食室で生まれたメニュー、世界の料理などを紹介していきます。

2年前の1月1日に能登半島地震があったことを覚えていますか？東京でもお正月に揺れを感じたと思います。災害は予想できませんが、私たちができる防災対策を考えてみましょう。給食では、市の防災食を寄付していただき、給食始まりのメニューに防災がゆを使った汁物を用意します。

今年はうま年！



うまのように野菜をたっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう！



よく味わってうま味を感じよう！



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ



学校給食の始まり

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大誓寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

焼き魚

漬物

(明治22年ごろ)



五色ごはん

栄養みそ汁

(大正12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク

トマトシチュー

(昭和22年ごろ)



コッペパン・ミルク

クジラの竜田揚げ

せん切りキャベツ

(昭和25～30年ごろ)



バラエティー豊かな献立内容に

給食の歴史を経て、今の給食があります。日本の季節の行事食や郷土料理、小金井の地場野菜を大切にした給食を提供しています。また世界の食文化も紹介します。

おむすびの日

